

2009年 卒業研究

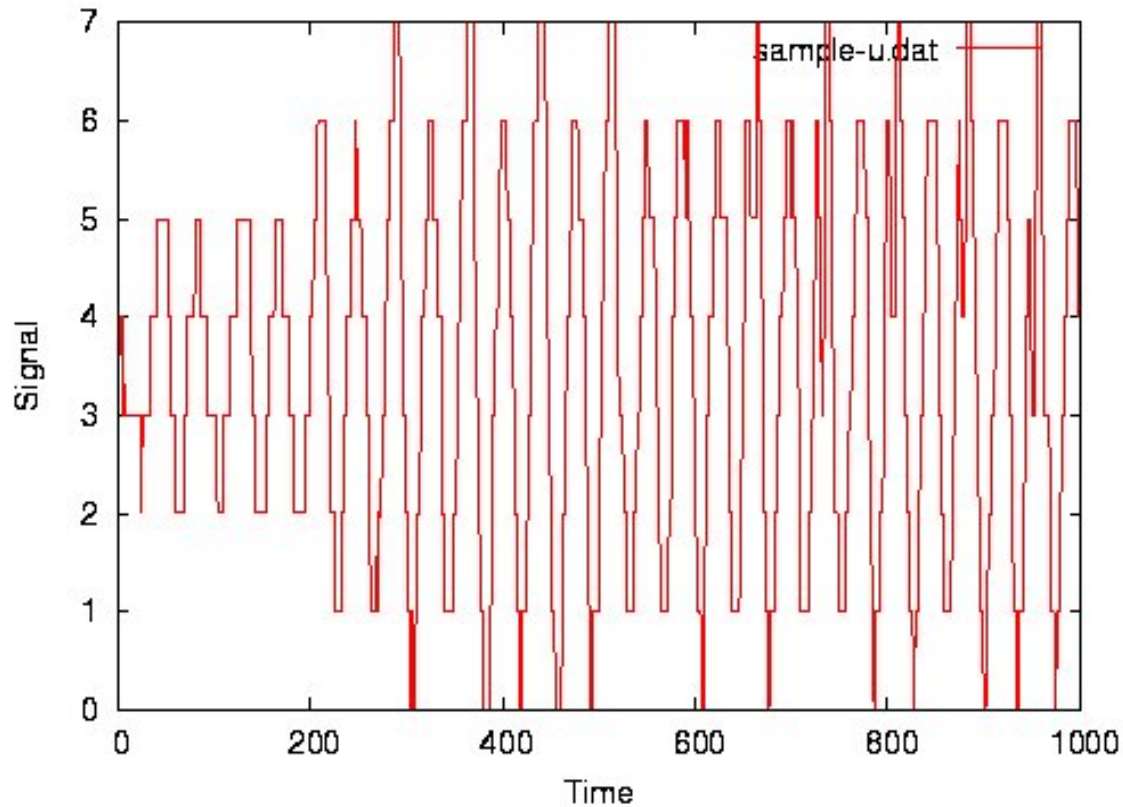
隠れマルコフモデルによる時間領域での音声信号の学習と生成

宮崎大学工学部情報システム工学科

黒田 優士

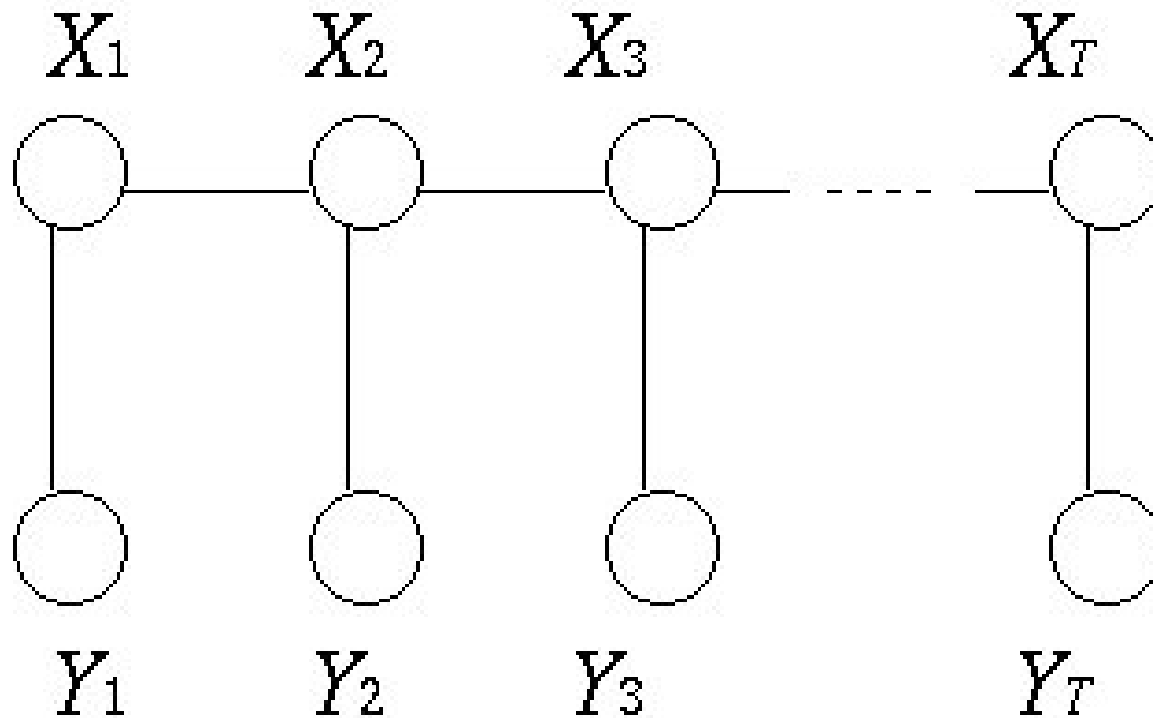
音声信号をモデル化したい

[u]



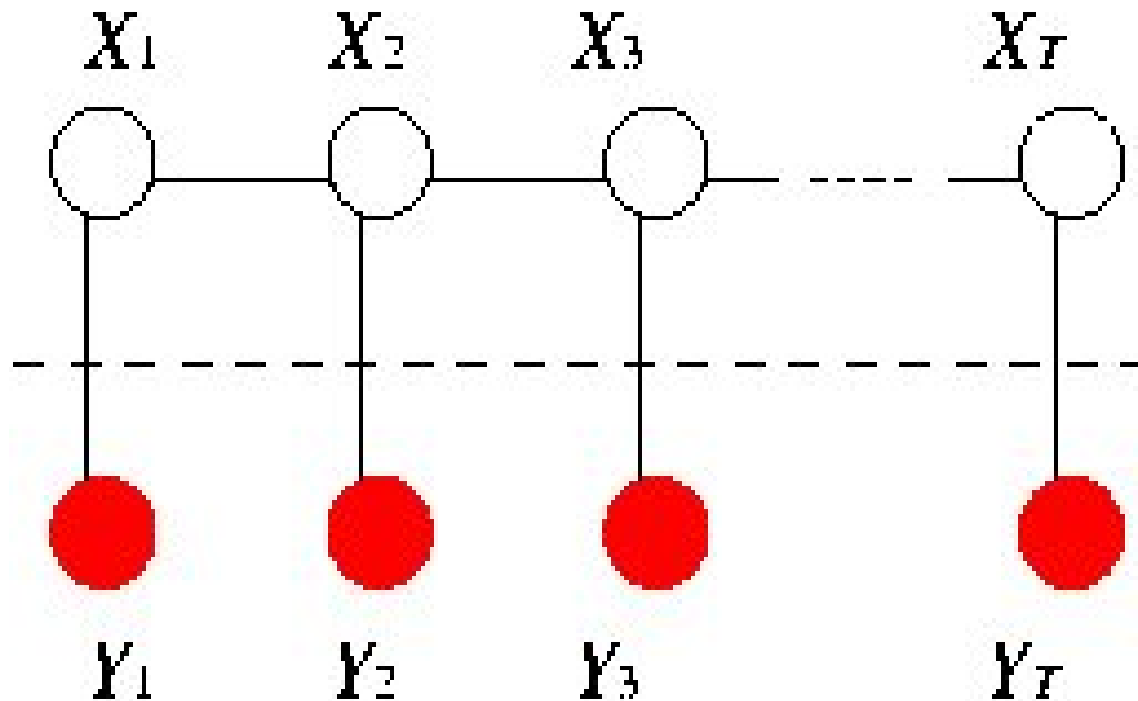
音声信号 → 複雑な確率分布をもっている

背景



単純な隠れマルコフモデル

背景



観測値： Y

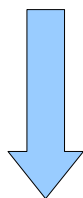
単純な隠れマルコフモデル

→ 複雑な同時確率分布 $P(Y_1, Y_2, \dots, Y_T)$ をモデル化できる

目的

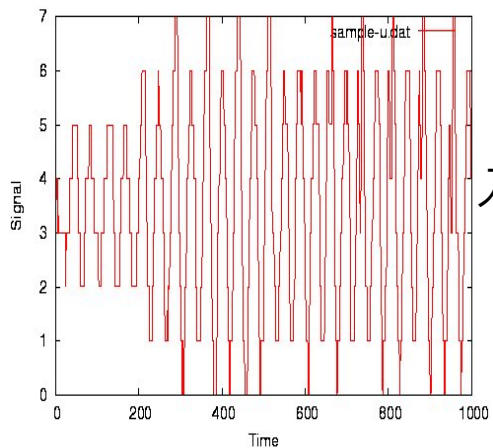
隠れマルコフモデル

観測値 Y についての確率分布を精度良く
モデル化できる

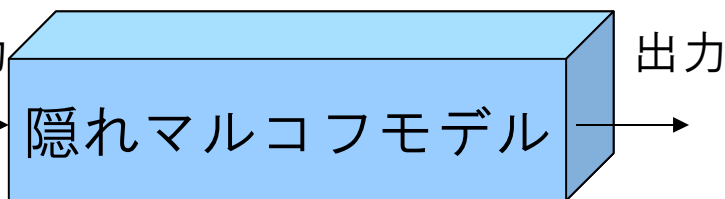


実際の音声信号を Y に与えて
その音声信号をモデル化できるか調べる

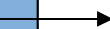
全体の流れ



入力

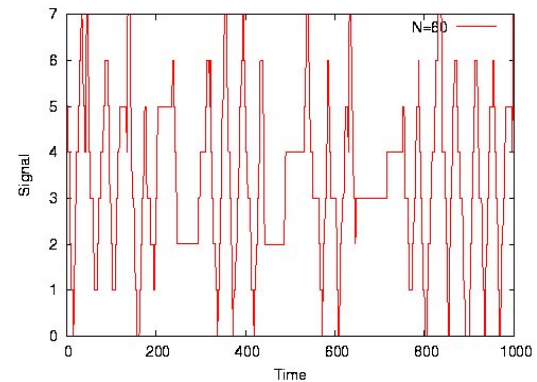
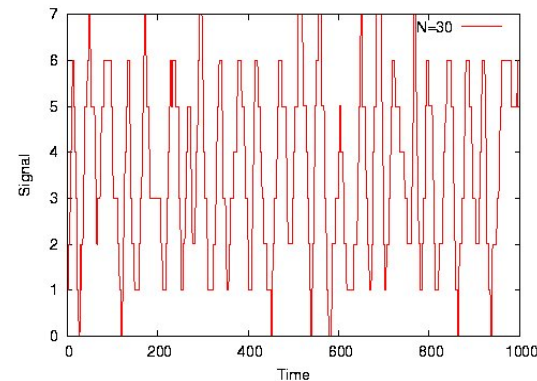
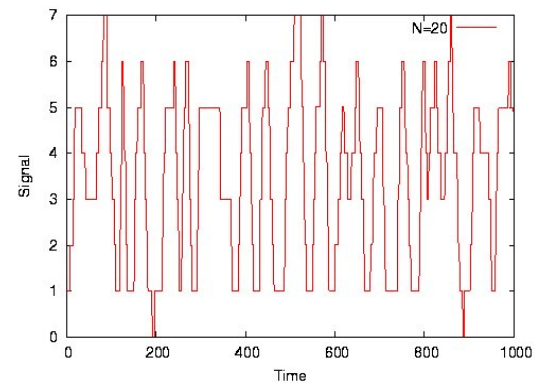


出力



パラメータを学習

データを確率的に生成

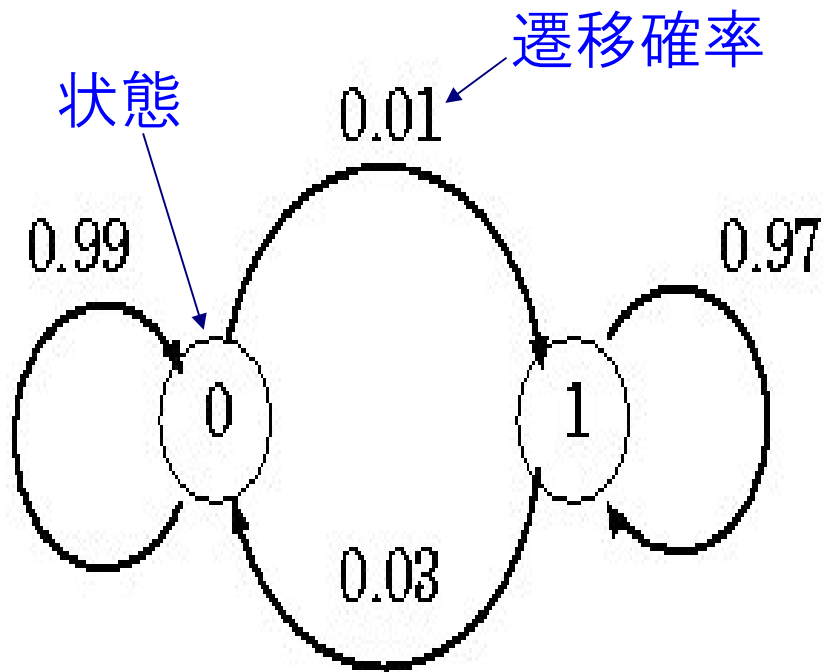




目次

1. 隠れマルコフモデル
2. 学習アルゴリズム
3. 実験結果
4. まとめ

マルコフ過程



確率変数 $X \in \{0,1\}$

遷移確率行列 P

$$P = \begin{bmatrix} p_{00} & p_{01} \\ p_{10} & p_{11} \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} 0.99 & 0.01 \\ 0.03 & 0.97 \end{bmatrix}$$

ランダムサンプル ↓ 500回遷移

2^{500} {

00000.....000000

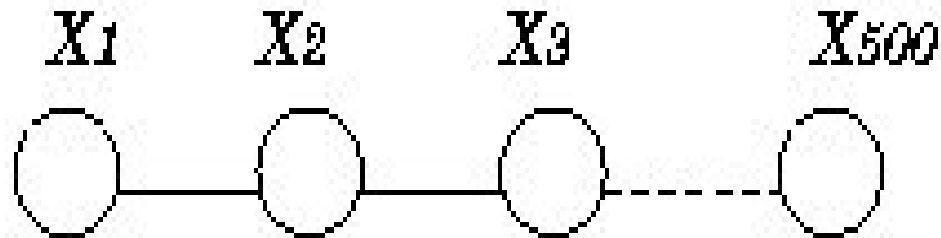
⋮

10011.....000000

⋮

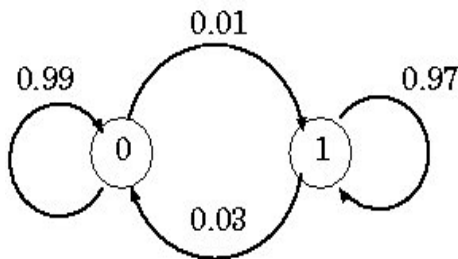
11111.....111111

マルコフ過程

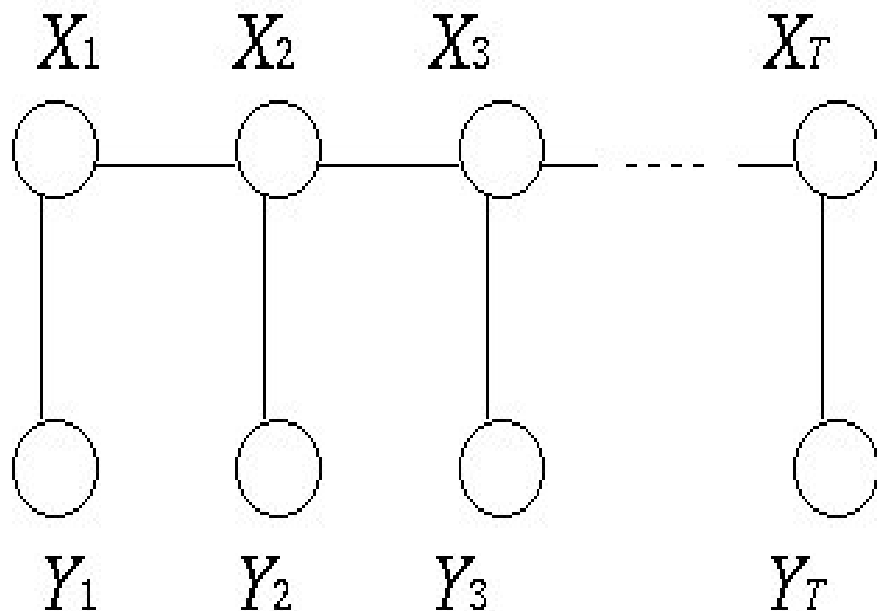


確率変数 X の依存性 $X = X_1, X_2, X_3, \dots, X_{500}$

$$P(X_2 | X_1, X_3, \dots, X_{500}) = P(X_2 | X_1, X_3)$$



隠れマルコフモデル



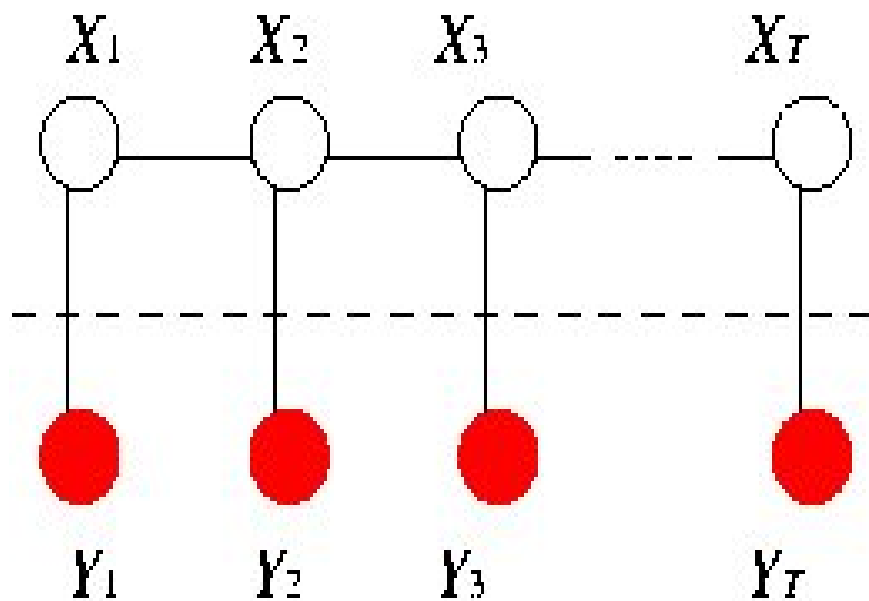
X : マルコフ過程

Y : マルコフ過程ではない

確率変数 $Y = Y_1, Y_2, Y_3, \dots, Y_T$

$$Y_t = f(X_t)$$

隠れマルコフモデル



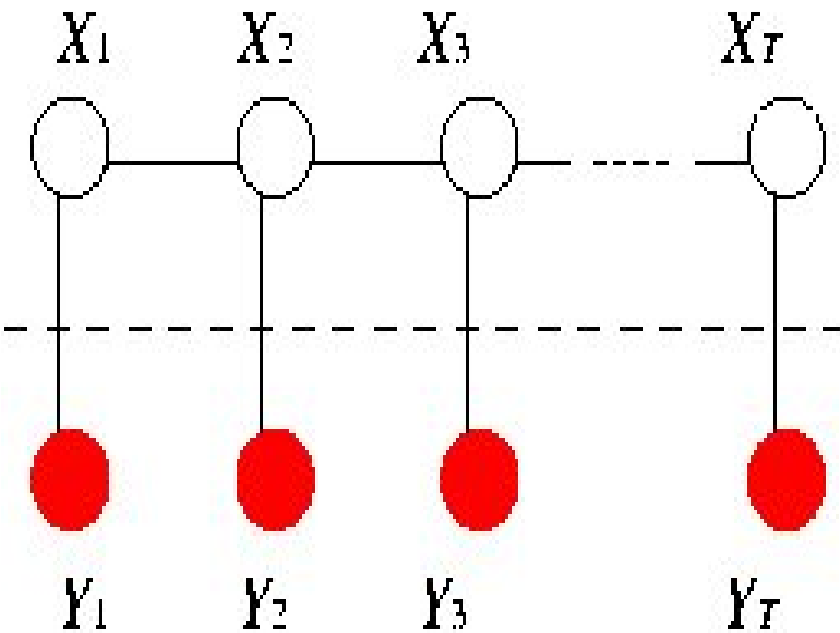
X の状態遷移確率 $\{p_{ij}\}$ を学習

赤：観測値： Y

確率変数 $Y = Y_1, Y_2, Y_3, \dots, Y_T$

$$Y_t = X_t \bmod 8$$

学習アルゴリズム



赤：観測値

$$X_t \in \{1, \dots, N\}$$

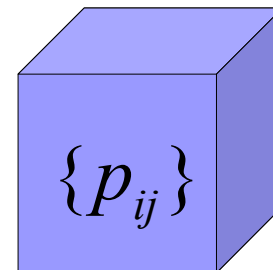
$$Y_t = X_t \bmod 8$$

$$i, j \in \{1, \dots, N\}$$

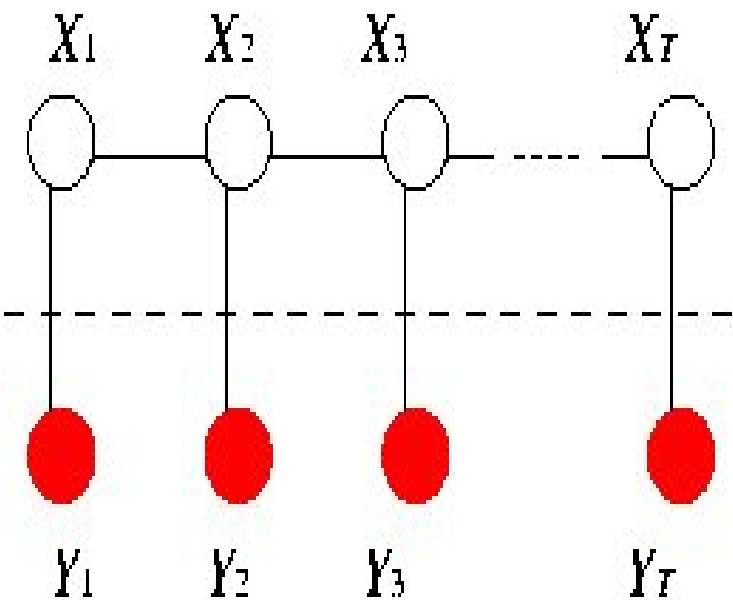
状態 i から j への遷移確率： P_{ij}

$N \times N$ 個の P_{ij} を求める

$X_1 = i$ である確率： P_i



学習アルゴリズム



$$i, j \in \{1, \dots, N\}$$

$$\mathbf{y} = (y_1, y_2, \dots, y_T)$$

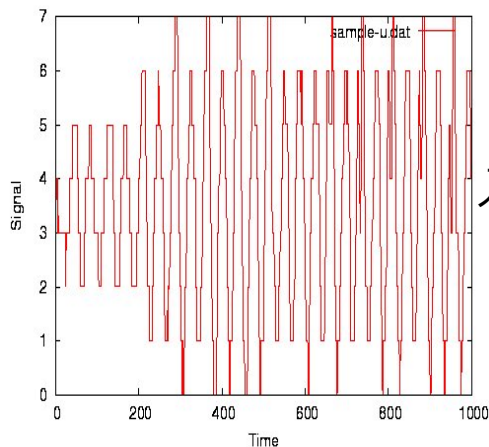
$$p_{ij} = \frac{\sum_{t=1}^{T-1} p(X_t = i, X_{t+1} = j, \mathbf{y})}{\sum_{t=1}^{T-1} p(X_t = i, \mathbf{y})}$$

$$p_i = \frac{\sum_{t=1}^{T-1} p(X_t = i | \mathbf{y})}{\sum_{j=1}^N \sum_{t=1}^{T-1} p(X_t = j | \mathbf{y})}$$

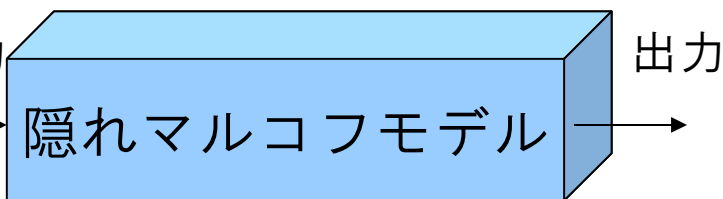


実験

実験の流れ



入力

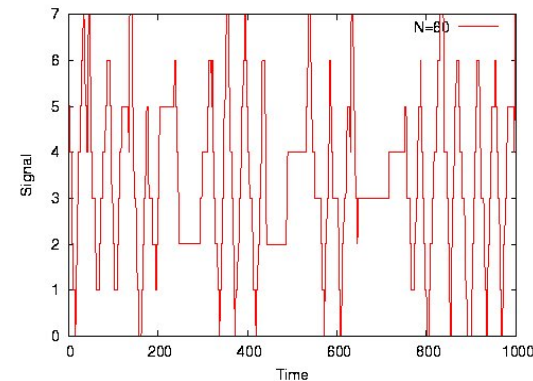
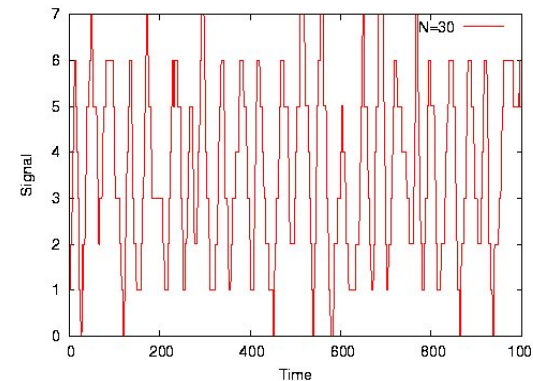
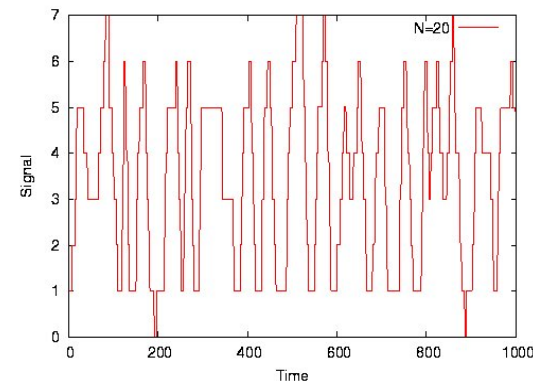
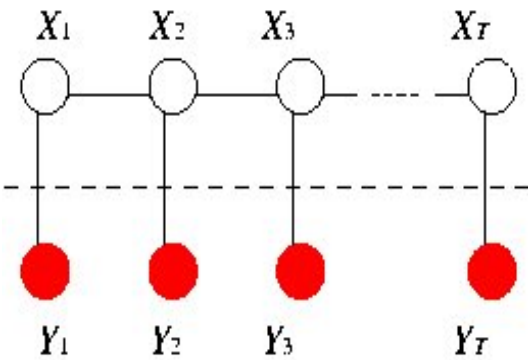


出力

$\{p_{ij}\}$ を学習



確率的に波形を生成



音声信号の学習と生成

■ 学習データ

1. 母音 : [a], [i]
2. 子音 : [k], [m]

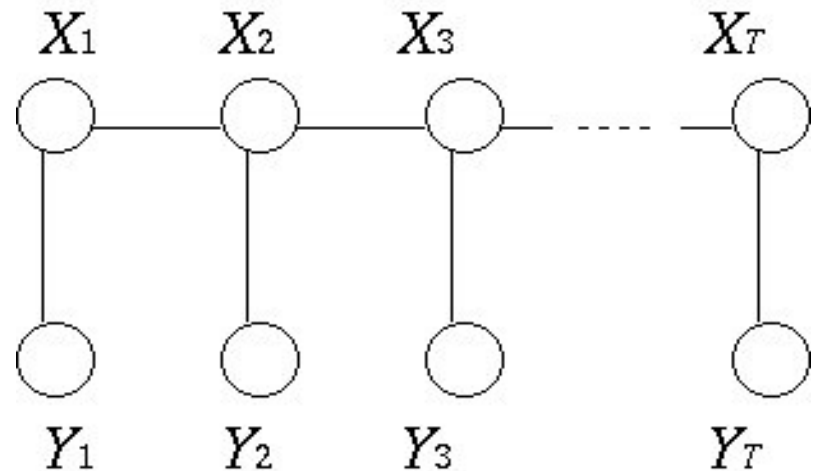
$$Y_t = X_t \bmod 8 \quad (X_t \in 1, \dots, N)$$

パラメータの数 : $N \times N$

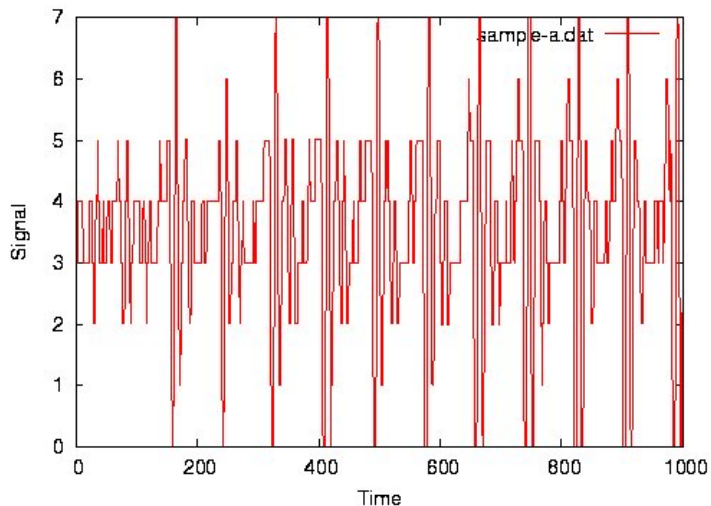
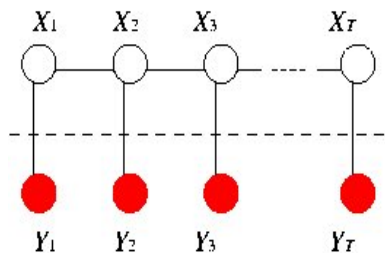
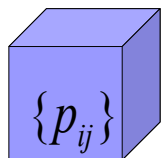
$$N = 10, 30, 60, 100$$

パラメータの初期値 : ランダム

$$0 \leq p_{ij} \leq 1, \quad \sum_j p_{ij} = 1$$



波形 [a]

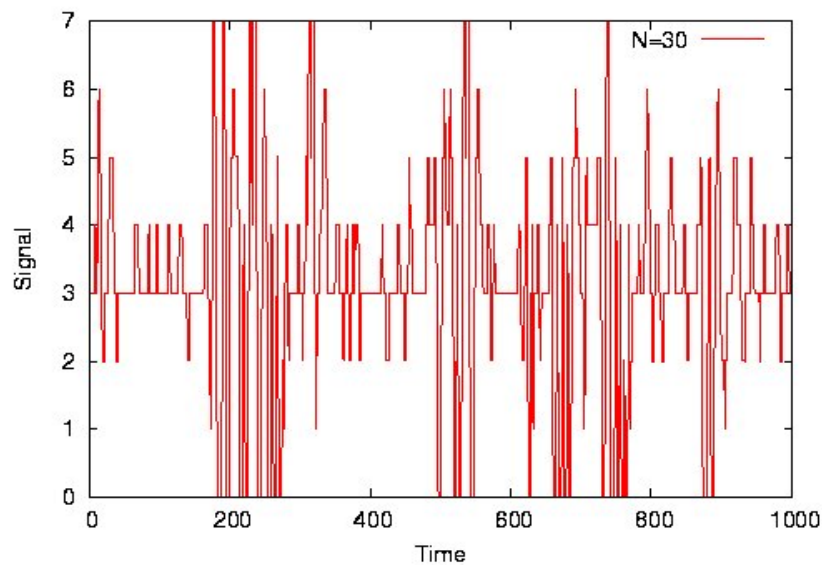
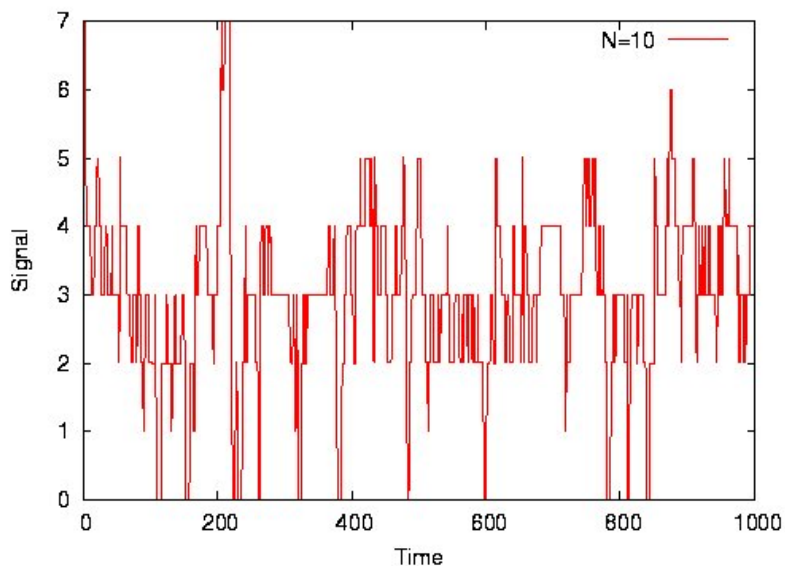


学習データ
10kHz, 8値
データ数 $T = 2250$

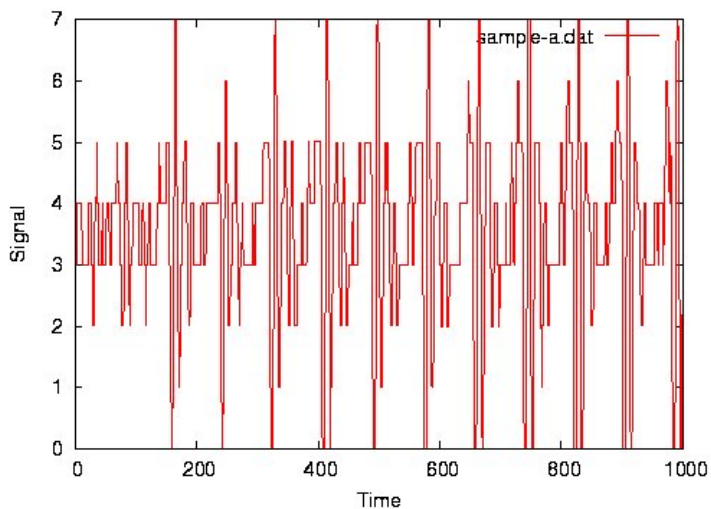
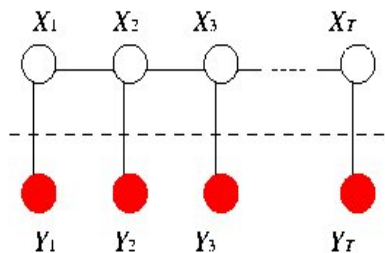
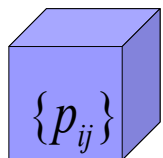
$N = 10$

生成された波形の例

$N = 30$



波形 [a]

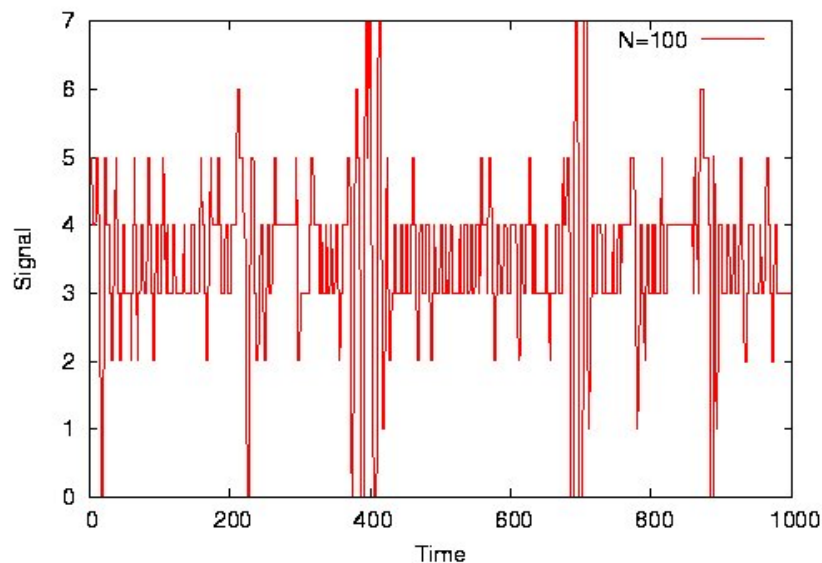
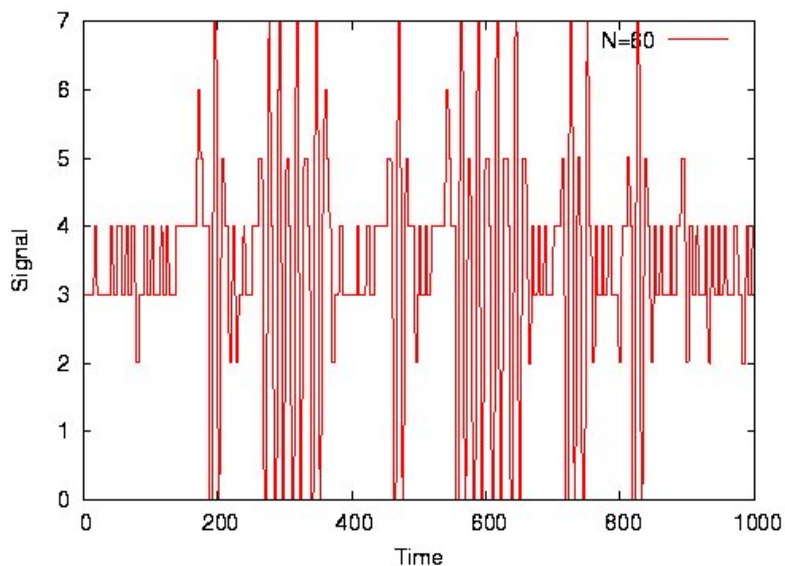


学習データ
10kHz, 8値
データ数 $T = 2250$

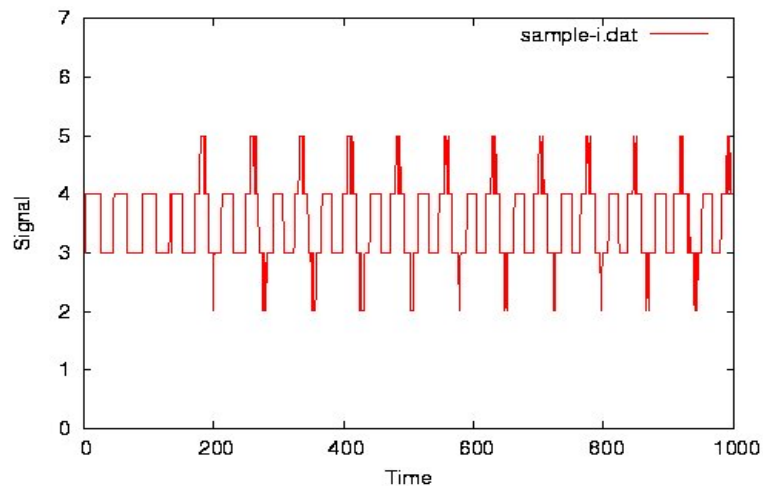
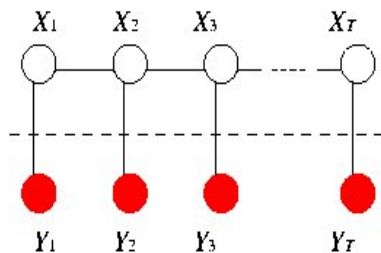
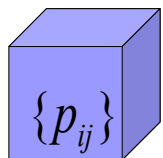
$N = 60$

生成された波形の例

$N = 100$



波形 [i]

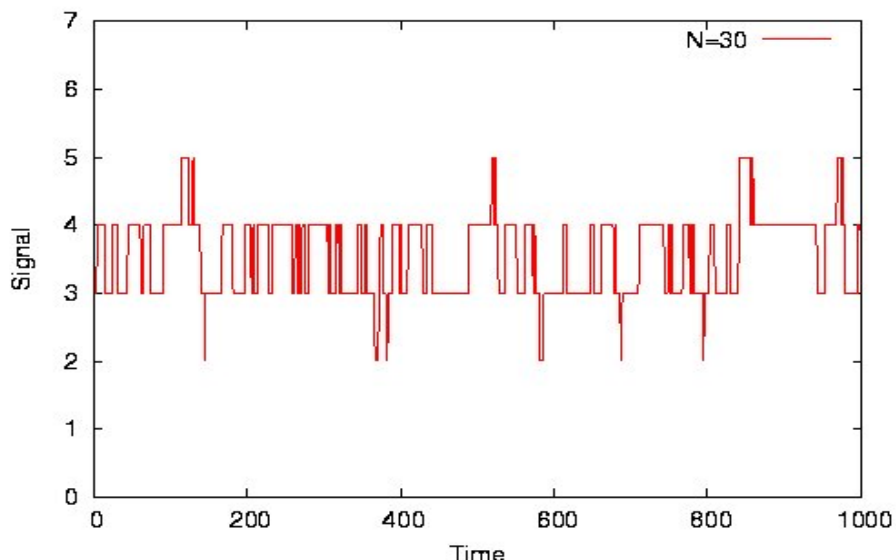
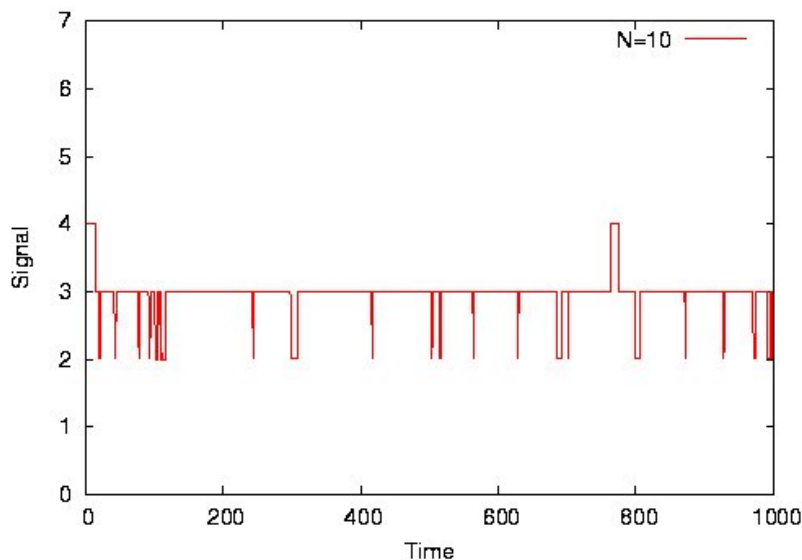


学習データ
10kHz, 8値
データ数 $T = 2250$

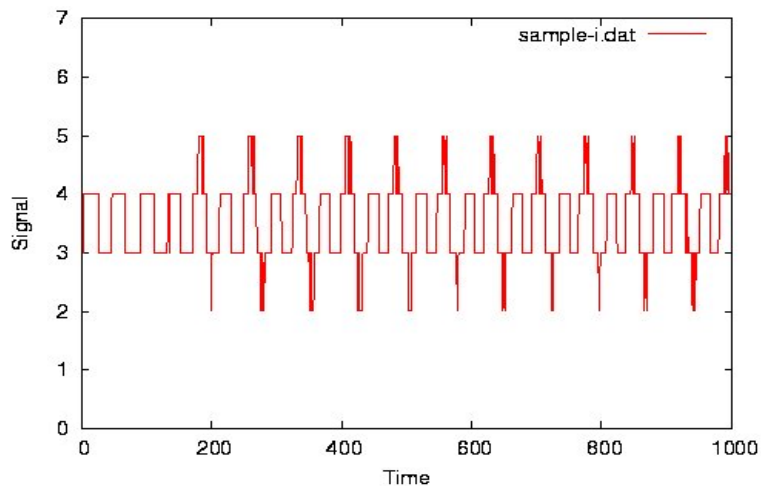
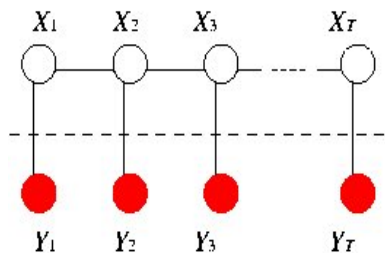
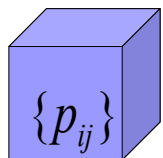
$N = 10$

生成された波形の例

$N = 30$



波形 [i]

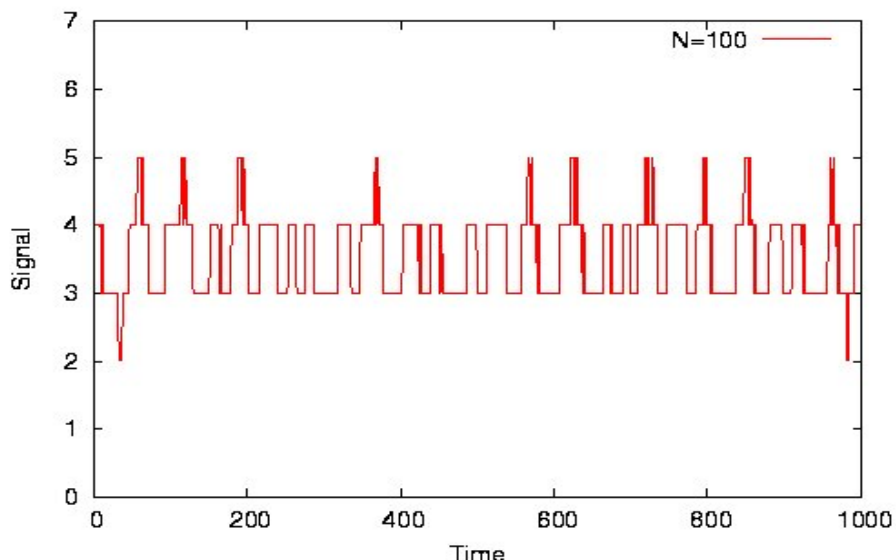
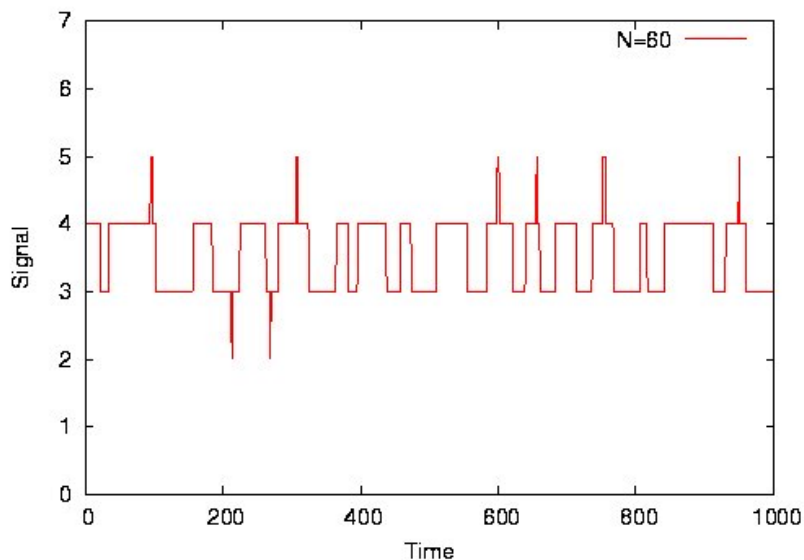


学習データ
10kHz, 8値
データ数 $T = 2250$

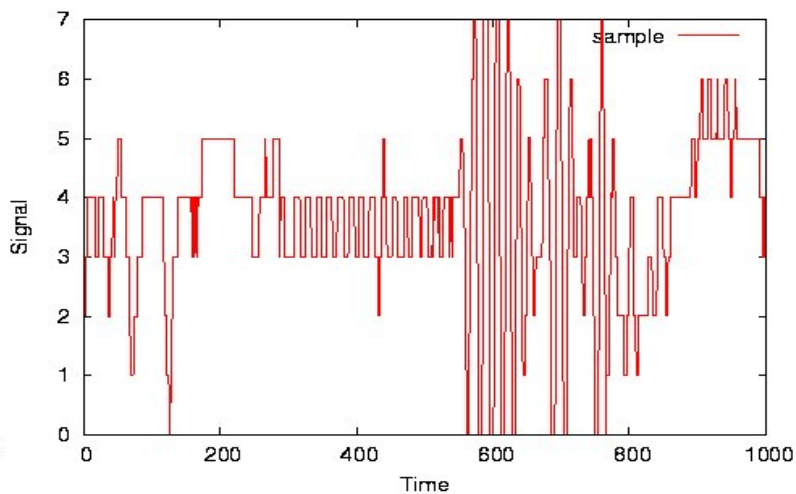
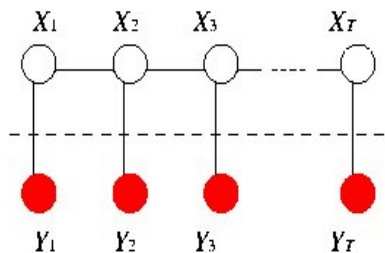
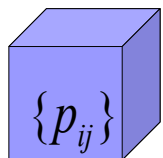
$N = 60$

生成された波形の例

$N = 100$



波形 [k]

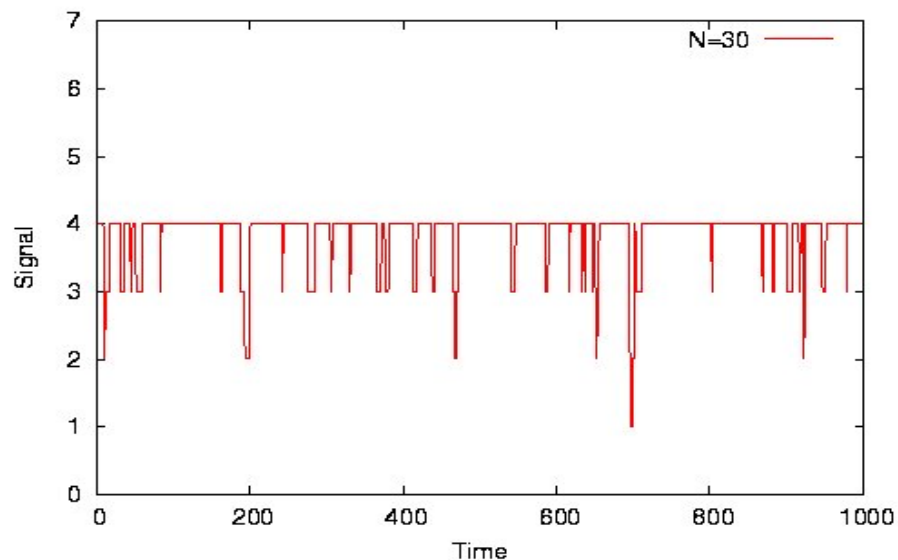
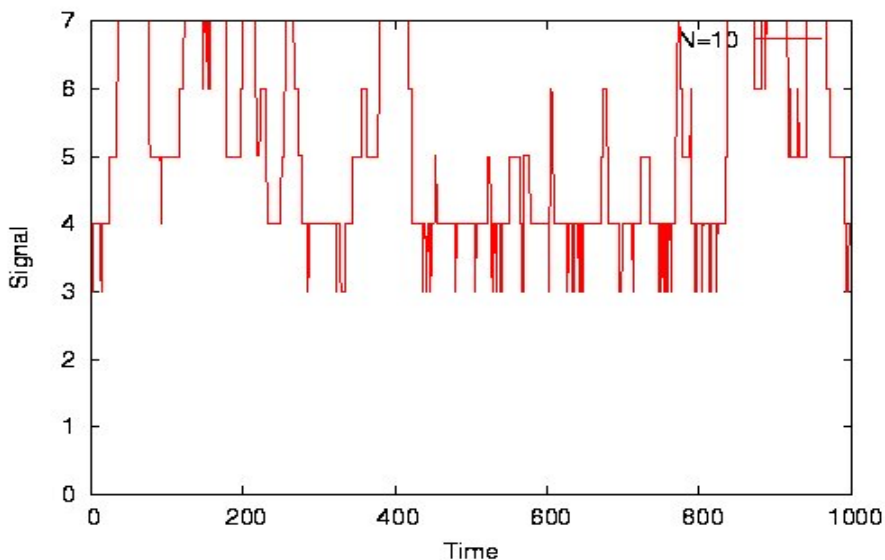


学習データ
10kHz, 8値
データ数 $T = 3486$

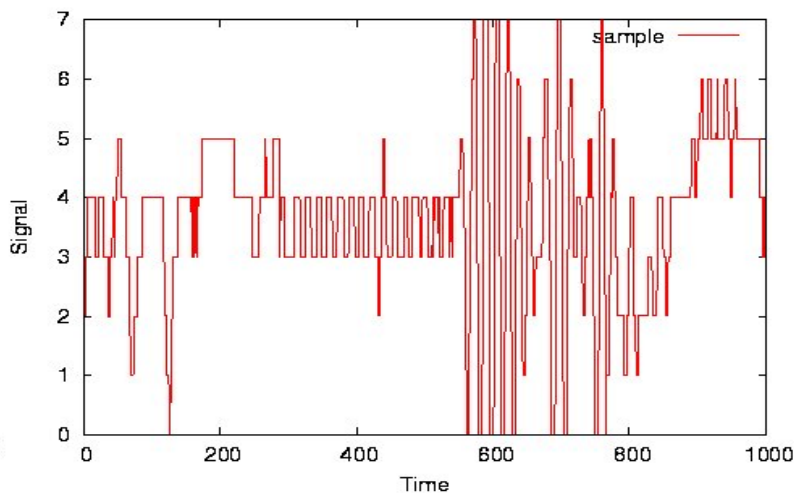
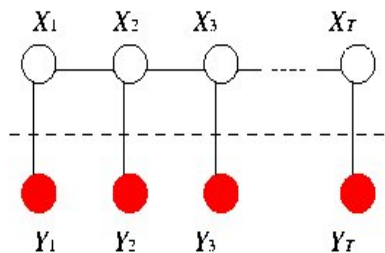
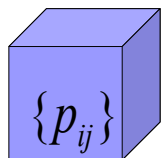
$N = 10$

生成された波形の例

$N = 30$



波形 [k]

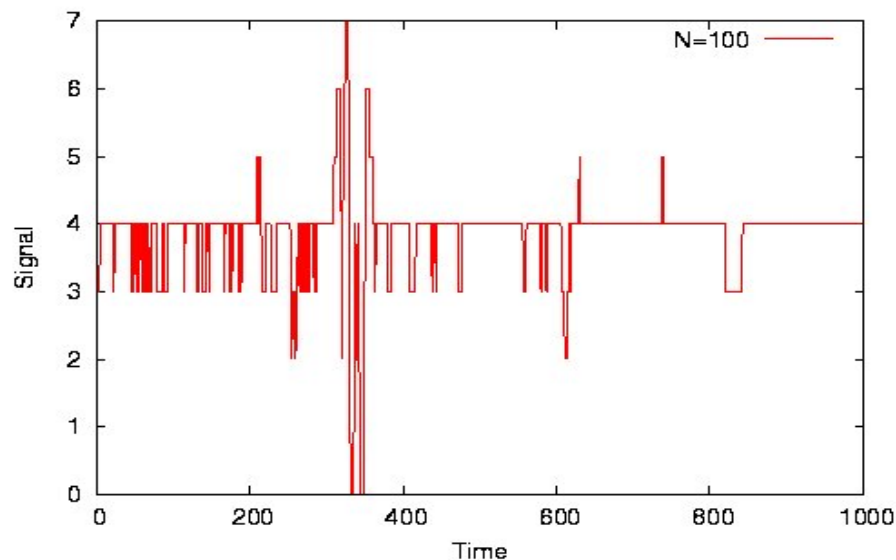
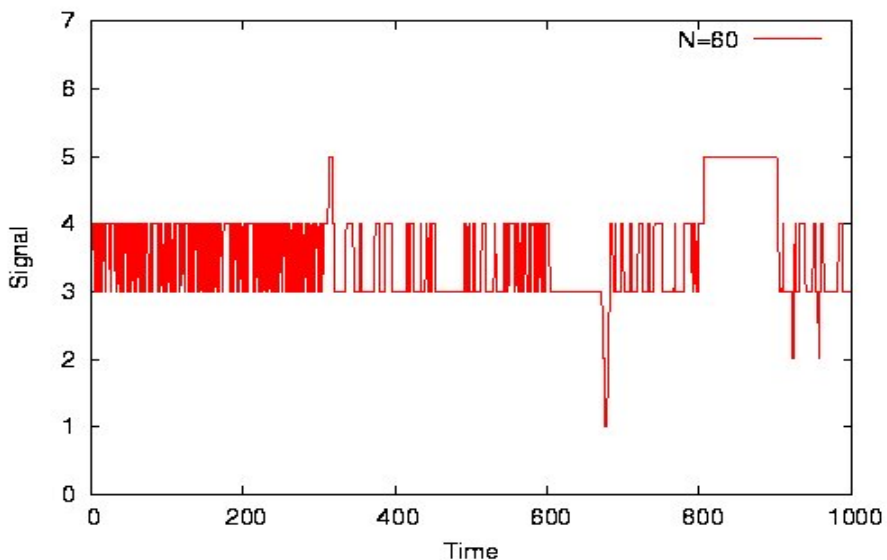


学習データ
10kHz, 8値
データ数 $T = 3486$

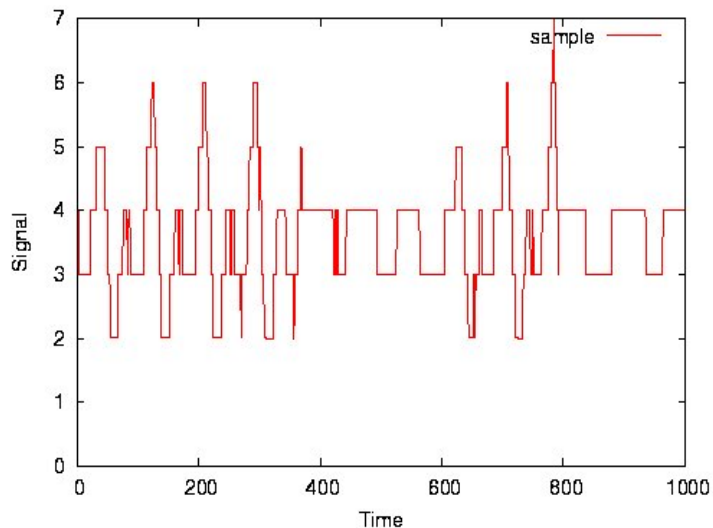
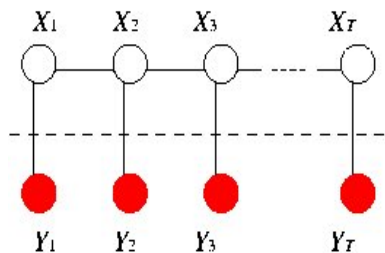
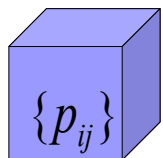
$N = 60$

生成された波形の例

$N = 100$



波形 [m]

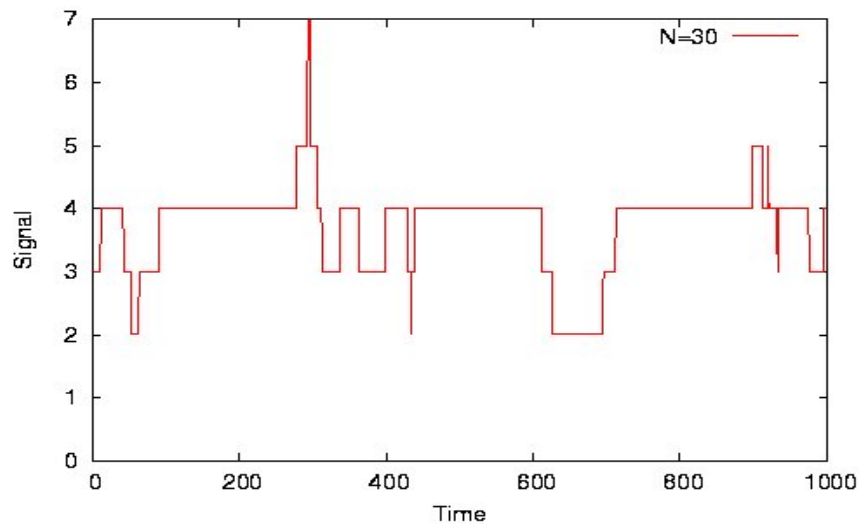
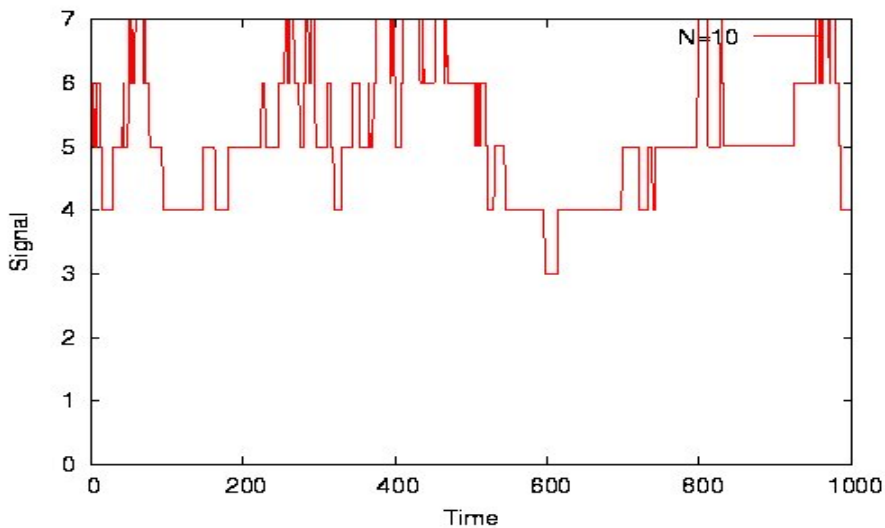


学習データ
10kHz, 8値
データ数 $T = 2911$

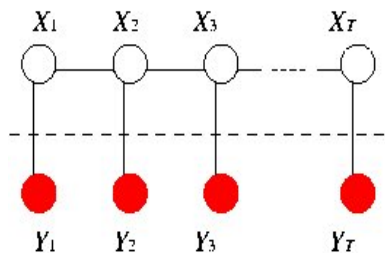
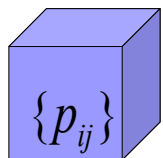
$N = 10$

生成された波形の例

$N = 30$



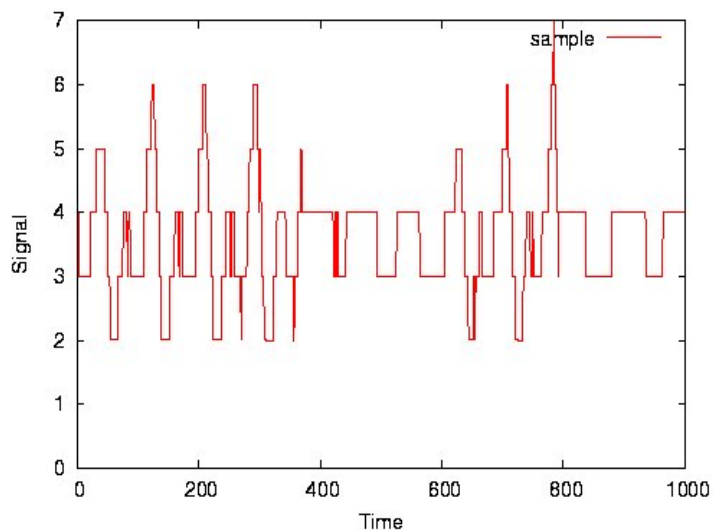
波形 [m]



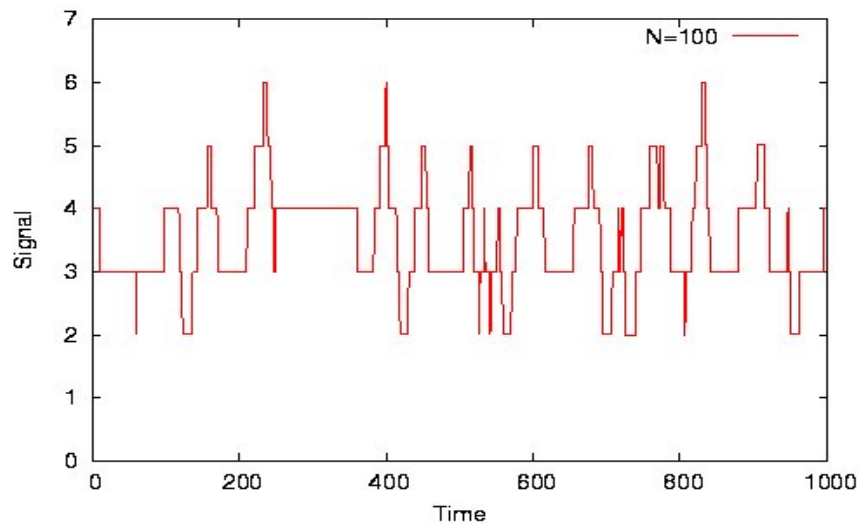
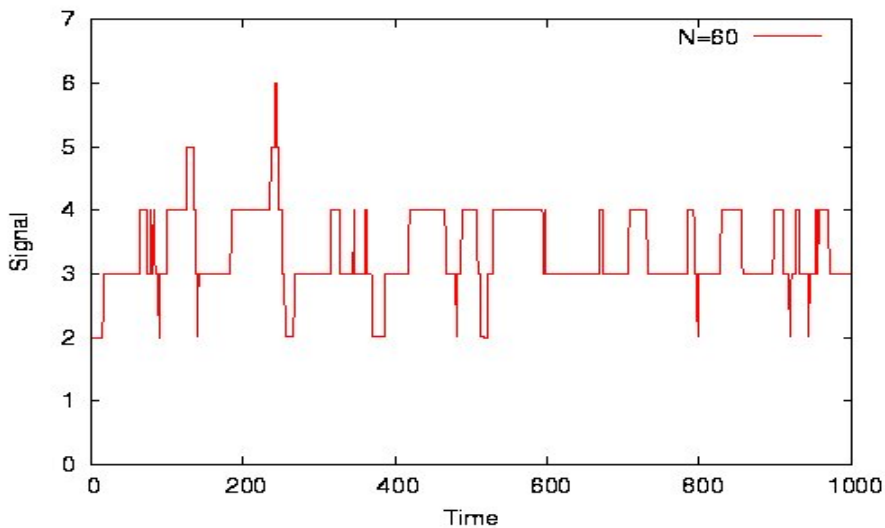
$N = 60$

生成された波形の例

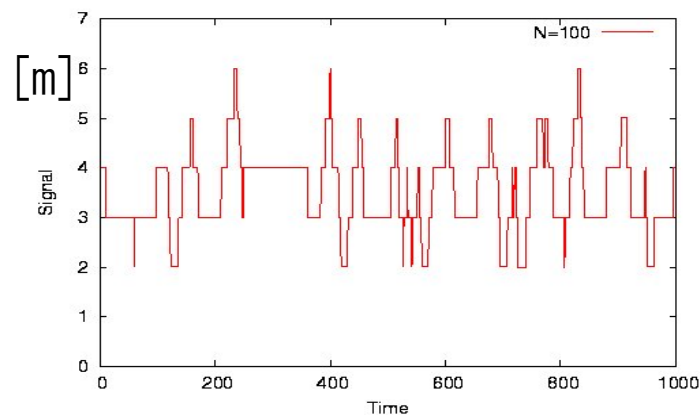
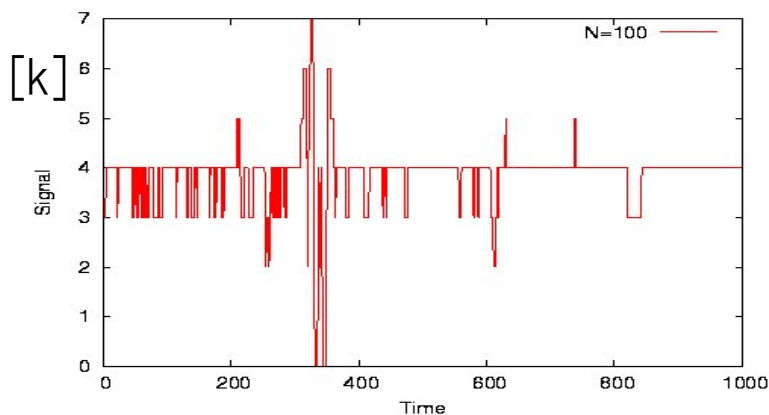
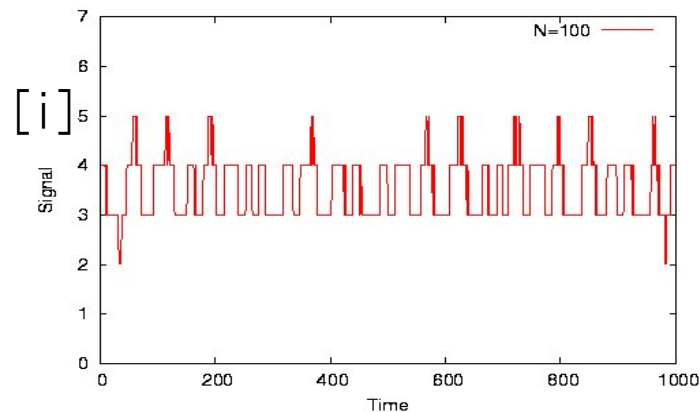
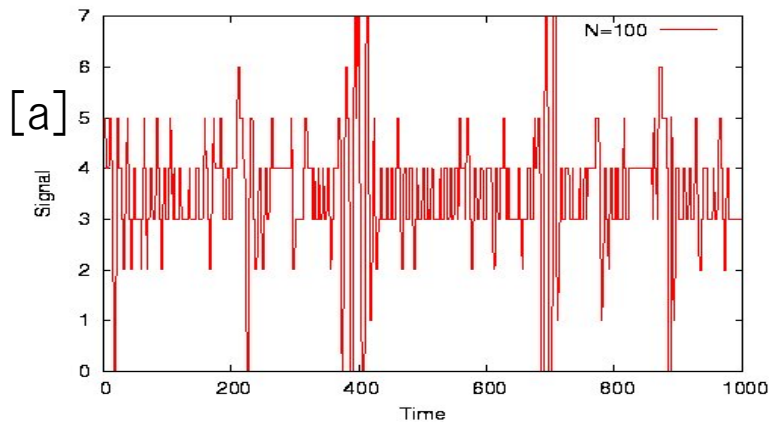
$N = 100$



学習データ
10kHz, 8値
データ数 $T = 2911$



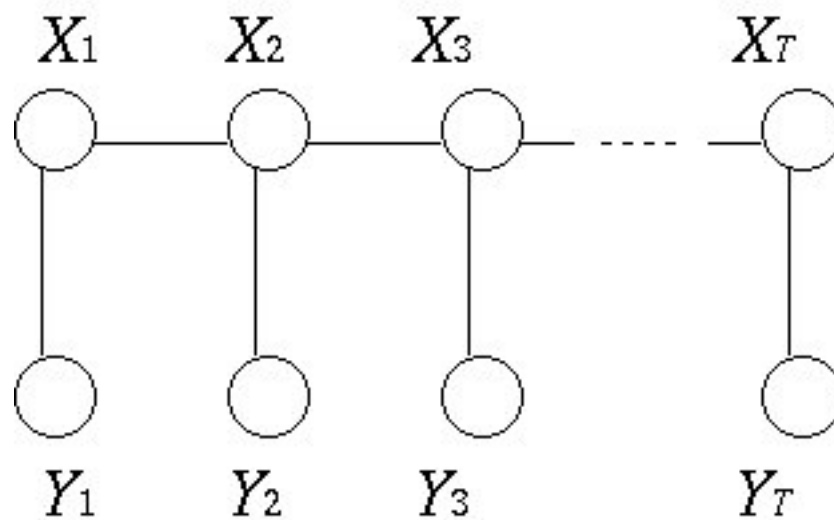
考察



- N が大きいと学習データに近づく
- 学習データにより生成される波形は違う

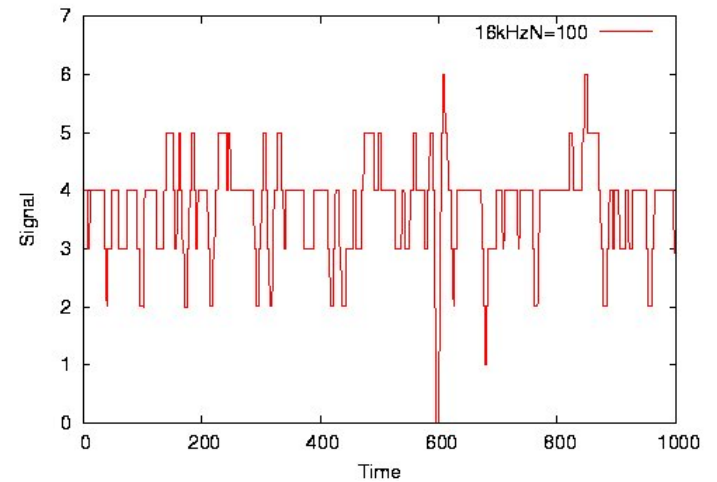
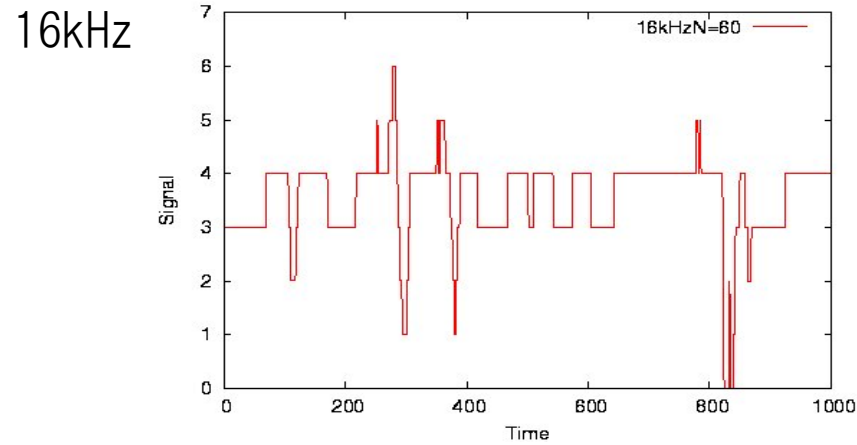
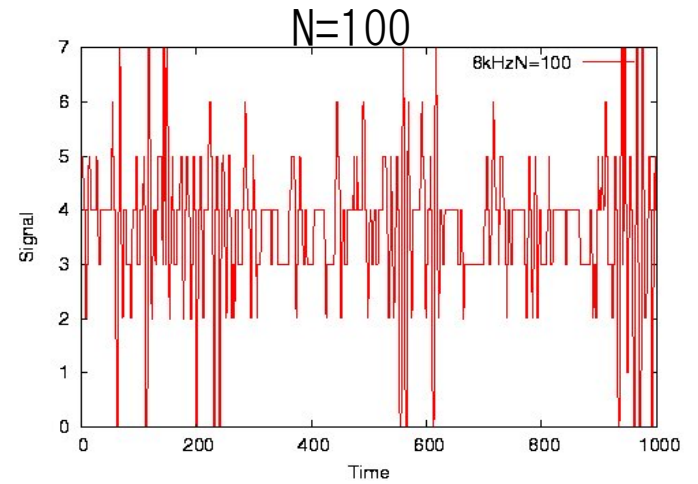
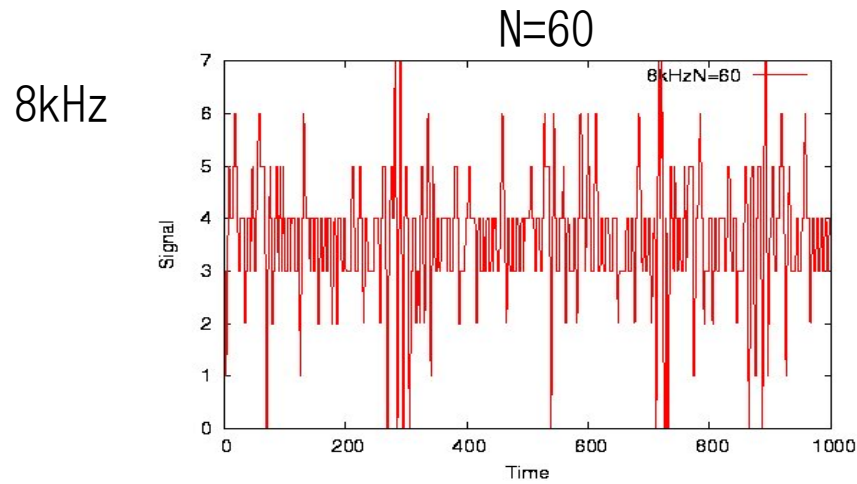
まとめ

- 隠れマルコフモデルで音声信号が表現できるのかを調べた
- 現実の音声信号を与え、モデル化した
- モデルから生成された波形から、学習データの違いが判別できた
 - 音声信号をモデル化できる



ありがとうございました

8kHz, 16kHz [a]



EMアルゴリズム

1. $\{p_{ij}^m\}$ の初期値を乱数に設定する

$$0 \leq p_{ij} \leq 1, \sum_j p_{ij} = 1$$

2. $X_t = i, X_{t+1} = j$ となる回数の期待値を計算する

$$n_{ij}^m = E_{\{p_{ij}^m\}}[n_{ij} | y_1, \dots, y_T]$$

$$3. \{p_{ij}^{m+1}\} = \left\{ \frac{n_{ij}^m}{\sum_k n_{ik}^m} \right\}$$

4. が収束するまで、2, 3 を繰り返す

EMアルゴリズム

$$\begin{aligned} p_{ij}^{m+1} &= \frac{n_{ij}^m}{\sum_k n_{ik}^m} = \frac{E[n_{ij}|\mathbf{y}]}{\sum_k E[n_{ik}|\mathbf{y}]} \\ &= \frac{\sum_{t=1}^{T-1} p(X_t = i, X_{t+1} = j, \mathbf{y})}{\sum_{t=1}^{T-1} p(X_t = i, \mathbf{y})} \end{aligned}$$

計算式

$$p_{ij}^{m+1} = \frac{\sum_{t=1}^{T-1} L_t(i) p_{ij}^m q_{j,y_{t+1}} R_{t+1}(j)}{\sum_{t=1}^{T-1} L_t(i) R_t(i)}$$

$$L_{t+1}(i) = \sum_{j=1}^N L_t(j) p_{ji}^m q_{i,y_{t+1}}$$

$$R_t(i) = \sum_{j=1}^N R_{t+1}(j) p_{ij}^m q_{j,y_{t+1}}$$

$$L_1(i) = p_i^m q_{i,y_{t+1}}, R_T(i) = 1$$

$$p_i^{m+1} = \frac{\sum_{t=1}^{T-1} L_t(i) R_t(i)}{\sum_{j=1}^N \sum_{t=1}^{T-1} L_t(j) R_t(j)}$$

$$i, j \quad Y_t = f(X_t)$$

$$(X_t \in 1, \dots, N)$$

$$p_{ij}^m \quad Y_t = X_t \bmod 8$$

$$p_i^m \quad X \quad Y \quad X_t \quad P(Y | X)$$

$$q_{i,y} \quad f(i) = y$$

$$p_{ij}^{m+1} = \frac{\sum_{t=1}^{T-1} L_t(i) p_{ij}^m q_{j,y_{t+1}} R_{t+1}(j)}{\sum_{t=1}^{T-1} L_t(i) R_t(i)}$$

$$L_{t+1}(i) = \sum_{j=1}^N L_t(j) p_{ji}^m q_{i,y_{t+1}}$$

$$R_t(i) = \sum_{j=1}^N R_{t+1}(j) p_{ij}^m q_{j,y_{t+1}}$$

$$L_1(i) = p_i^m q_{i,y_{t+1}}, R_T(i) = 1$$

$$p_i^m = \frac{\sum_{t=1}^{T-1} L_t(i) R_t(i)}{\sum_{j=1}^N \sum_{t=1}^{T-1} L_t(j) R_t(j)}$$

$$X_1 = i \quad t = 1, \dots, T$$

$$N = 10$$